

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【384】

2. 日時：令和5年2月3日 13時30分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、
中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、
谷口技術参与、植木技術参与

技術基盤グループ

大橋技術研究調査官、小林技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他21名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力建築室 課長※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。規制庁の千明です。それでは、石森原子力発電所 2 号機のセット購入のヒアリングを開始します。本日午後の説明項目は、
0:00:12	理事計算書、建物構築物の波及的影響の施設評価と、
0:00:17	あと強度計算書、竜巻関係の土建関係とあります。
0:00:22	それでは辺集め方と、資料確認について説明をお願いいたします。
0:00:29	中国電力の落合です。それではまず、資料の確認と番号取りをさせていただきます。資料は全部で 14 種類ございます。提出日につきましては、
0:00:40	基本的には 1 月 30 日で、一部以前のものもありますけども、それについてもあわせて提出させていただいております。
0:00:47	それでは番号をとっていきます。
0:00:49	まず、資料番号 N-S に他の 303 これを資料番号 1 番とさせていただきます。
0:00:56	それから、N-S に No. 2-014-02、これを資料 2 番とさせていただきます。
0:01:02	それから NS2 の方の 025-13、これを資料 3 番とさせていただきます。
0:01:08	続きまして N-S2-添 2-014-03、これを資料番号 4 番とさせていただきます。
0:01:15	次 N-S2 の方の 025-14、これを資料番号 5 番とさせていただきます。
0:01:21	次し、次 N-S2 の他の 304、これを資料番号 6 番とさせていただきます。
0:01:28	次 N-S2-添 2-014-04、これを資料番号 7 番とさせていただきます。
0:01:35	次 NS2 の方の 025-15、これを資料番号 8 番とさせていただきます。ここまでが耐震計算書になります。
0:01:43	続きまして N-S2 の他の。
0:01:46	184 回 04、これを資料番号 9 番とさせていただきます。
0:01:51	次に N-S2 の添 3-013-01 回 04、これを資料番号 10 番とさせていただきます。
0:01:59	次に N-S2 の添 3-013-06 回 01、これを資料番号 11 番とさせていただきます。
0:02:09	続きまして N-S2 の添 3-013-13、これを資料番号 12 とさせていただきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:16	続きましてN-S2の方の029階04、これを資料番号13とさせていただきます。
0:02:23	続きましてN-S2の添3-013-17回、01、これを資料番号14とさせていただきます。資料につきましては、以上14種類になりますが、
0:02:34	おそろいでしょうか。はい、規制庁チギラ率は、資料の方確認できました。ほ
0:02:41	はい。それでは進め方につきまして、
0:02:44	数、説明、集め方についてですけれども、前半と後半の2パートに分けてご説明させていただこうかと思えます。まず最初に、資料番号9番から14番の、
0:02:55	共同計算者の竜巻関係になります。こちらの方につきましては、前回のヒアリングのコメント回答になりますので、1件ずつご説明させていただきたいと思えます。
0:03:07	後半の環境影響につきましてはまた、砂丘影響の説明の前に時間とか、進め方についてはもう一度ご説明させていただきます。
0:03:14	いかがでしょうか。はい、規制庁亀裂、はい。その進め方でお願いします。
0:03:29	中国電力の仲村です。はい。それでは強度計算書竜巻関係のコメント回答についてご説明いたします。資料は9番から14番を用いてご説明いたします。
0:03:40	まず資料きる番回答整理表の1ページをお願いします。
0:03:47	本日も説明するコメント回答は、ナンバー7と8になります。
0:03:53	まず、年、
0:03:54	7番のコメントですけれども、コメント内容としましては、デッキプレートを相当使いすぎのモデル化に加えていることに関して、デッキプレートの切り欠きの有無について説明することです。
0:04:06	回答としましては、資料13番、補足説明資料の22ページをお願いします。
0:04:17	22ページが一番下の部分、黄色ハッチングで文章を追加しております。なお、強度計算書において式による評価で、貫通限界厚さ、または、
0:04:27	裏面剥離限界厚さを満足しない、原子炉建物屋根面部及びタービンタービン建物屋根スラブについて、
0:04:35	デッキプレートの切り換えがないことを確認している旨を追記しています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:39	コメントNo.7 に対する回答は以上です。
0:04:47	規制庁のミウラです。
0:04:48	なかったことを確認しているってということで、書いていただいているんですが、
0:04:54	これ具体的に目視による点検か何か行われたんでしょ。
0:05:01	はい。中国電力の仲村です。ご認識の通りで目視により止め、止めというか、天井面の、デッキプレート of 切り換えの有無を確認しました。以上です。規制庁の三浦磯の確認というのはあれですかこの指摘の後をやられたんですが、
0:05:17	それでもいざ以前から全部やっちゃったってということなんでしょう。
0:05:27	江藤。以前から確認はしてはしておりますが、前回のヒアリングのご指摘を踏まえまして念のためもう一度、実機を確認したという状況です。以上です。わかりました。これ切り換えてないことを確認したとだけ書いてるんですが、これやっぱり目視による点検を、
0:05:45	したところとかっていうことで、その行為を少し書いておいていただきたいんですが、
0:05:54	中国電力のナカムラで承知しました目視による点検の結果として確認したという旨がわかるように記載を適正化いたします。以上です。はい、それで結構です。はい、次いでください。
0:06:07	中国電力の仲村です。はい。それでは資料 9 番に戻っていただきまして続いてコメントナンバー 8 番になります。
0:06:16	コメント内容としましては、時刻歴衝撃荷重に対する応答スペクトルの算出方法及び条件、減衰定数、周期間隔の設定について説明することです。
0:06:28	こちらにつきましても補足説明資料 13 番の紙資料の 19 ページ目をお願いします。
0:06:36	時刻歴衝撃荷重に対する応答スペクトルの概要や算定条件を、参考資料として新たにまとめて作成しております。
0:06:45	19 ページの 2 ポツに記載の、文章と図に示す通り、応答スペクトルは減衰定数って、こういう周期の異なる一次一次裕度振動系の出典に、
0:06:57	時刻歴衝撃荷重を入力し、縦軸に応答の最大せん断力、
0:07:02	横軸に固有周期を持ったものとしてお示しています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:06	続く 20 ページに応答スペクトルの算定条件としまして、建物の主体構造が鉄筋コンクリート造であることを踏まえて、減衰定数を 5%としたこと。
0:07:16	それから、応答スペクトル算定における周期間隔を表の形でお示しています。
0:07:22	コメントナンバー 8 番に対する回答としては以上になります。
0:07:28	規制庁植木です。
0:07:30	資料の
0:07:34	13 番の資料の 20 ページにですね
0:07:39	算定条件、
0:07:43	前回もちょっとお聞きしたかもしれないんですけど減衰定数 5%については、こういう衝撃、
0:07:54	荷重っていうかところ、かなり短周期は、
0:07:58	の応答なんですけれども、
0:08:02	高齢に対しても、コンクリート、普通耐震、
0:08:08	甲斐関井で使っている 5%と同じ減衰でいってというのは、何かどこかで、
0:08:16	検討はされてるんでしょうか。
0:08:20	んとして、
0:08:48	はい。中国電力の仲村です。減衰定数 5%につきましては当先行サイトで実施されているものを参考に設定したということですので、
0:09:00	この資料 4、4 ポツ 1 の資料につきましては、力積から算定した衝撃荷重の保守性をお示しするというので、
0:09:10	5%に設定した上で保守性の確認をした。
0:09:15	ということになります。以上です。
0:09:20	規制庁植木です。
0:09:24	先行と同同じ
0:09:28	減衰を使ってるっていうことは理解しました。
0:09:34	はい。あと床落とす PET の作り方についても、
0:09:39	19、19 ページにあるような、
0:09:42	やり方でやってるということで理解しました。私からは以上です。
0:09:57	はい。規制庁の千明です。
0:09:59	それでは
0:10:01	竜巻強度の竜巻関係のコメント回答は以上でしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:09	はい。中国電力の仲村です。指摘事項に対する回答としては以上となります。よろしければこのまま記載適正化のうち主なものについてご説明したいと思いますがいかがでしょうか。はい。お願いします。
0:10:23	中国電力の仲村です。はい。それでは9番の資料回答整理表の2ページ目をお願いします。
0:10:30	記載適正化のうち、主なものについてご説明いたします。ご説明するのは、資料2ページの247番になります。
0:10:40	資料で言いますと、補足説明資料13番の資料の27ページをお願いします。
0:10:51	27ページ以降に4.6として1号機原子炉建物の解析モデルにおける地盤ばねの設定についてという資料を、今回新たに作成しております。
0:11:01	強度計算書においては各建物の地震応答解析モデルを用いて、竜巻荷重による評価を実施しておりますが、
0:11:09	1号機原子炉建物については、地盤ばねの設定方法が耐震計算書にお示ししているモデルと、一部異なるため、こちらの資料で地盤ばねの設定の考え方をご説明するものになります。
0:11:21	28ページをお願いします。
0:11:24	地盤ばねの設定方法については28ページの2ポツに記載の通り、他の建物と同様に、振動アドミタンス理論に基づき求めた水及びロッキングの地盤ばねとして設定しております。
0:11:38	設定した地盤ばねの諸元を、続く29ページに表でお示ししています。
0:11:44	記載の適正化の関係のご説明は以上となります。
0:11:51	はい、規制庁チギリズー、この
0:11:54	適正化についてはよろしいでしょうか。
0:11:59	規制庁の三浦です。これあれですよね1号機原子炉建屋、これも付着コールで3次元地盤モデルでやってた耐震ではですね、
0:12:10	それに対して今回は応答利益が小さいので、SR系振動アドミのばねをつけたってことなんですけど、
0:12:17	これ、強度計算書は全部、進藤網野バネー。
0:12:21	の線形解析って考えてよろしいですよね。
0:12:26	中国電力の仲村ですはい。皆さんご認識の通り、全建物、線形解析で振動アドミタンスの、Sway-Rockingのばねで評価しております。以上です。はい、了解しました。
0:12:40	はい、規制庁木村です。
0:12:42	それでは共同経産省関係の中国電力間ってのは以上でしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:50	中国電力の仲村です。当社からの説明は以上です。はい、わかりました。それではちょっと共同計算竜巻関係でこちらで確認する点が幾つかありますので、確認をしていきたいと思います。
0:13:14	はい。規制庁の仲村です。私の方から 1 点だけですね、確認さしてください。資料で言うと 13、
0:13:21	版の資料の、
0:13:23	24 ページですね。
0:13:28	で、ここで、図の中に 24 ページの上ですね、飛来物衝突速度っていうのが 34 メートルって書かれてるんですけども、
0:13:39	これを、を設定してる根拠っていうのをちょっと教えてもらいたいですけども。
0:13:45	いかがですか。
0:13:54	少々お待ちください。
0:14:43	中国電力の林です。お待たせいたしました。設計飛来物の初動速度につきまして設置可の段階で設定させていただいたものになるんですけど、その設定の考え方としましては
0:14:54	サービス設計部の水平速度は 51 メートルバイスなんですけど、その三分の 2 の速度を設定してございます。三分の速度の 34 メートルバイスを設定してございます。以上です。
0:15:06	すいませんちょっと早くて聞き取りづらかったんですけど、
0:15:11	51 メートル。
0:15:14	とかなんか言われましたんで水平とかって早くて、ちょっと理解できなかったんで、もう少しお願いできますか。
0:15:22	中国電力の林です。失礼いたしました。設計飛来物の衝突速度につきましては設置許可段階でご説明させていただいたものとなりまして、
0:15:32	まず、設計飛来物の衝突速度の水平速度につきましては 51 メートルバイスを設定してございます。こちらは飛散解析等で求めた衝突速度に対しましてガイドで、立つ営業ガイドで当初にされている水平速度、
0:15:49	蒲生 51 名デバイスで説明が大きかったので安全側にこの竜巻影響ガイドで示されている水速度を設定してございます。
0:15:57	速度につきましてはこちらもちょっとガイドで記載されてるんですけど、その水平速度の 3 分の 1 辺りの 34 メートルバイスを設定してございます。以上です。
0:16:05	規制庁仲村ですけども、ちょっとここ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:11	21 ページぐらいから始め、説明が始まって 22、23.5 ですが、いきなり コードの中でポイントだけ出てるんで、
0:16:22	少しもしかすると設置許可とかの時に何か説明されてるんですかもしれ ないんですけど、もう少しこう諸元とか含めてですね。
0:16:32	説明してもらった方がいいかなと思ってますんで。
0:16:39	はい。
0:16:40	で、どこかにですね、少なくとも説明、この数字を使ってるってところ でその紐づけっていうんですかね。
0:16:49	いうのところを示してもらった方がいいと思うんですけど、いかがでしょう か。
0:17:00	中国電力の林です。はい。コメントの趣旨、理解いたしました。方針の方 に飛来物の速度について定義してございますのでそちらの方とひもづ ける形でちょっとはい。
0:17:10	説明を追記したいと思います。以上です。
0:17:15	でしょ。
0:17:20	えっと、
0:17:27	だから、
0:17:31	規制庁仲村ですけども、へ、
0:17:35	それはあれですね、資料番号で言うと 12 番の、
0:17:41	21 ページですか。
0:17:45	上位文書として下から 2 行目ぐらいのところ別添 1-1 っていうので示さ れてると思うんですけども、
0:17:56	それと紐づくってるといことになるんですかね。
0:18:05	すみません
0:18:07	人中、
0:18:09	22 ページですね。
0:18:11	の上から、はい、上から 2 行目の別添 1-1 って書いてるそっちですか ね。
0:18:19	そちらの方に紐づいてるっていう言葉であればそれを、をわかるような 形でですね、資料中に記載してもらったと思うんですけど、いかがでし ょうか。
0:18:34	中国電力の林です。ご認識の通りですねはい。先ほどのはい。記載内 容は、記載内容がわかるように入っても前の方させていただきます。以 上です。
0:18:44	はい。よろしく申し上げます。私からは以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:58	規制庁の服部です。私から少し基本的な話をもう一度、
0:19:03	ちょっと思い返したいので確認をしたいんですけども、
0:19:06	資料中の、
0:19:10	5 ページをお願いします。
0:19:14	ここに竜巻の強度評価をする施設分類が、
0:19:20	示されてるんですけども、
0:19:23	この
0:19:25	対象とする施設って、
0:19:29	どうやって選んでるのかというのを、
0:19:32	もう一度ちょっと説明してもらおう。
0:19:36	ことはできませんでしょうか。具体的には、
0:19:40	例えば、
0:19:41	ガスタービン建物だとカー緊対所の建物だとか、
0:19:45	防水劇だとカー津波監視カメラとか、
0:19:49	竜巻の影響を受けそうなものがほかにもありそうな感じもするんですけど、
0:19:55	そういうのがここに入っていないので、
0:19:58	どういうふうを選定してるのかなっていう考え方を少し説明してくださいどうぞ。
0:20:07	中国電力の林です。評価対象施設の選定につきましては設置許可の段階でちょっとご説明させていただいた内容となってその繰り返しでちょっと恐縮なんですけども、
0:20:18	竜巻影響評価の評価対象施設につきましてはまず、安全重要度分類のクラス 1、2 と 3 の施設をまず母数として挙げてございます。
0:20:29	その中から対象対象とする評価対象施設はクラス 1 と 2。
0:20:34	さらに絞りまして、そこから竜巻の影響を受ける施設を別途さらに収集されます。先ほどちょっとご指摘ありました SA 設備であるガスタービン建物ですとか、津波設備につきましては安全上分類の、
0:20:47	観点で上がってこないんですけどそれに対する竜巻上の配慮につきましても設置者側の方で説明させていただいております、
0:20:57	SA 設備につきましては案件名衛藤、
0:21:00	建物に入れてるとかもしくは DB 設備とか他の SA 設備の分は 1 ということを確認しております竜巻によりその機能を措置するものでないと判断してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:11	3密管設備につきましても竜巻と津波を通行するものではないとした上で、土佐に監視カメラですと予備品等を有しております。そして竜巻により損傷した場合でも取りかえる等の説明を設置許可の段階でさせていただいております。以上です。
0:21:28	規制庁の服部です大体、わかりました。何となく思い、記憶が重い、よみがえってきたんですけど。
0:21:35	結局だから、取りかえられるものは共同評価しないよっていうことでしたよね確か。
0:21:40	で、SEについては、やってるんだけども、ここには挙げないよっていうことですか。
0:21:49	中国電力の林です。設備につきましては竜巻上の評価等につきましてはSA設備はDB設備の方を守っているのでDB設備等まず分散されることを確認してございます。またさらに、
0:22:02	その他の設備と部材されることを確認することで、評価としてもお受けとしてございます。以上です。
0:22:13	規制庁の服部です。今の説明は少しわからなかったんですけどさっきは、
0:22:18	SAのガスタービン建物とかもうやってますって言っていて、
0:22:24	今は、
0:22:25	Dに包絡されてますっていう説明だったと思うんですけど。
0:22:29	その通りですか。
0:22:32	中国電力の林先生、ちょっと説明が悪くて申し訳ございません。SA設備につきましてもまず、DBの原子炉建物と蟹江と、
0:22:42	あとDBで評価するものに内包されてる方はその大学の設備により防護されてるってことでは、防災ってことを確認してございます。そうではない設備につきましてもDB設備ないしはハタの衛生設備と位置的分散を
0:22:56	取ってることを確認してそれをもって評価として剛としているということで、という整理をしてございます。以上です。
0:23:07	はい規制庁の服部です。例えば、ちょっと具体的に聞くんですけど、例えばガスタービン建物を、
0:23:16	ガスタービン建物はここの評価の中に入っていないんですけど、
0:23:21	そのガスタービン建物の中にあるSA設備は、
0:23:25	他のもので代用できるので、そっちで評価してる。
0:23:31	ということですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:35	中国電力の林です。そちらにつきまして、地下の方で表の形式でお示し させていただいてるんですけど、ガスタービン建屋発電機につきまして はまず非常用ディーゼル発電設備を竜巻の方で防護してると。
0:23:47	あと他のとで2設備とも位置的分散を図ってることも踏まえましてはい。 評価として良しとしているというような整理をさせていただきます。以上です。 規制庁の服部です
0:23:57	わかりました。
0:24:00	ガス、要するにガス、GTGの方は、
0:24:05	しっかりと守るんだけど、
0:24:07	SAワー、ガスタービンの発電機の方は、その分散という形で、
0:24:15	配置してるということで、ここの評価には乗ってこないよというのを、許可 の時にその方針が示されてるということなのでここに入ってこない。
0:24:30	だから緊対所とか、そういうものについてもまた同じような形だということ で、ちょっと許可の時にず、どういう詳しい議論がなされた説明がなされ たのかわかりませんが
0:24:44	こういうふうにと。
0:24:56	規制庁のハトリですはいということで理解していて、それはプラント側 の方で改めて
0:25:05	説明は設工認としてやってるということでよろしいですか。
0:25:11	中国電力の林ですSs-Dの取り扱いにつきまして設置許可の方で説 明してございまして国設工認の段階で、改めてご説明ということは、現 状してございません。以上です。
0:25:26	規制庁の服部です。ちょっと確認なんですけど、
0:25:29	ちょっと時計の方はよく言うんですけど、許可で説明したことも、設工認 できちんと説明をした上で、詳細設計に入っていくんだよという流れだと いうふうには、
0:25:42	そういうふう理解してるんですけど。
0:25:44	その数、許可で
0:25:47	もう許可を受けたものについては、
0:25:50	特に設工認では振りある程度振り替え
0:25:54	た上で、その詳細設計的な説明をしないというのは、プラント側では普 通そういう流れでやってるということでよろしいですか。
0:26:04	中国電力の林です。評価対象施設の選定等は、まず許可でご説明させ ていただいてところ、建設工認の方でも補足説明資料として付けさせて いただいて説明していただいております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:16	ただSA設備の評価方針につきましてはそのような補足説明資料につけて、改めてするというようなことをさせていただくと、そちらにつきましては、
0:26:26	その補足説明資料の構成につきまして先行プラントと、ちょっと参考に、はい。同じような整理をさせていただきます。以上です。
0:26:34	規制庁の八田ですわかりました基本的には先行と同じような形で、説明があつてると、ある、あつたということでちょっとプラントの詳しい話は少しわかりませんが、
0:26:49	少しその点についてはわかり、一応わかりましたということでこの確認は終わらせていただきます以上です。
0:27:06	すいません規制庁タダウチなんですけれども、
0:27:09	ちょっと今服部の質問に対して一応、念のため確認させ、竜巻のガイドを見ても書いてあるんだけれども、対象施設、竜巻のね、対象施設ということ言えば、
0:27:25	竜巻防護施設っていう意味ではね、許可のときにそれはグレードの高いやつ選んでって話はなってるんだけれども、
0:27:35	竜巻防護施設に波及的影響をおよぼし得る施設ってのも、ちゃんと選んでおかなきゃいけないんだけど、これは許可の時以降に例えば設工認で何か増えちゃってるようなね、するような施設ってのがもしあつたとすればそれについては、ちゃんと
0:27:52	新たにノミネートするとかね、そういったようなことが説明されているんですかね。だからさっき言ったようなことがね、共同のとき当たり前のようにやってることを一応設工認の方でも、
0:28:05	変わりがないですよって説明も含めて対象施設っていう中のような通りになってますっていう話が説明されているのであれば、問題ないかなと思うんですけどそこら辺どうでしょう。何か。
0:28:18	なかつたりするんですか増えてるも増えないもん。
0:28:22	中国電力のハヤシ説、はっきり的影響を防止する施設につきましても設置許可で説明させない、進めさせていただく内容を、補足説明資料としておつけさせていただきます。その際、
0:28:33	設工認の段階で増えた設備もございますそちらも説明してございまいるんですけど、
0:28:38	ガスターガスタービン越冬日DBの非常用、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:45	ディーゼルのBの格納槽に波及的影響をする施設として福補助、復水貯蔵タンク車駅を波及的影響する施設として直接工認段階で追加してごさいます。
0:28:56	こちらについてご説明させていただいて追加してごさいます。以上です。
0:29:01	すいません外仮設耐震構台もそう。
0:29:13	中国電力の林です。仮設構台につきましては緒家と、また現状は、
0:29:20	とは経営的容量を施設として追加してごさいます生かせない状況でして、まず能勢衛藤竜巻における説明書におきまして仮設構台を、
0:29:30	波及的影響する施設として、現状注視ないことの方考え方について説明させていただこうと考えてごさいますこちらんつきまして資料が整い次第、改めてご説明させていただく予定となっております。以上です。
0:29:44	ちなみに、ガントリークレーンを、
0:29:47	入ってないんですかねどうなんですこれ。
0:29:52	中部電力の林です。ガントリークレーンにつきましては当初レール延長をすることで経理位置を変更しまして倒壊範囲に守るべき設備がないような、設置状況をににごさいます、
0:30:06	それをもって波及的影響し得る施設として、途中してごさいます。そちらにつきまして先日の竜巻の強度のヒアリングの方で社長が説明した、その先ほどの私が発言した、
0:30:18	ガントリーの衛藤LNGにつきまして設置許可で説明させていただいてるんですけども、設置許可で説明した内容を工認の補足説明資料にも、改めてつけて説明させてごさい、説明させていただいております。以上です。
0:30:34	すいません規制庁忠ですそういった意味でもあれもこれやとなるんじゃないかなと改めてって話よりはやっぱりちゃんと説明しとくんじゃないんですかねというふうな、
0:30:47	工程じゃないかと思っているんですけどもいかがでしょうか。そうしないとあれもこれもじゃあっちどうなってんのこっちどうなってんのかって話になりかねないと思うんですが。
0:31:06	要は詳細設計の段階に置いて、しっかりとそこは施設としてね同定されてるってことが前提のもとに、設工認のね。
0:31:17	中身の話ができるんだと思っているんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:21	層厚ちょっと我々としては何かあっちで説明してるからいいんですよっていうのはなかなか、わかりにくいんじゃないかなっていうのがこっこの審査の担当のお考えてることです。
0:31:35	以上です。
0:31:38	中部電力の林です。ちょっと私の説明でわかりづらいところあったと思うんですが、すみませんでした。施設の式典選定につき渡瀬地区から説明させていただいたんですけども、設置許可で説明させていただきを改めて工認の段階でも、
0:31:53	説明させていただいてその補足説明資料の形でつけてございます。その際に工認の時点で反映すべきものは反映した形で説明をしている、いただいております、
0:32:02	当社としましては保存スペースについて説明させていただいてるというような認識でございます。以上です。
0:32:18	すいません増減というどっちかっつうと増える方も含めてこれはあれですかねプラント側の方にしっかりと説明いただいているっていうことで、すかね後でプラント側に私聞いていますけど、
0:32:36	中国電力の林です。はい竜巻に関わる説明書の補足説明資料としてプラント側の方に施設の選定につきましては説明させていただいてるという認識でございます。以上です。
0:32:48	はい。了解いたしました。
0:32:59	はい、喜多千田です。他に。
0:33:05	お願いします。
0:33:06	規制庁の三浦です。ちょっと資料 11 番、
0:33:13	ー29 ページ。
0:33:15	なんですけど、
0:33:16	ここで鋼材能は檀泉の教育委員会ありますよね。
0:33:21	0.084 と電気だと 0.080 とこれが先行機と一緒になんですけど、この算定とか設定根拠って、
0:33:29	示していただくことができます。
0:33:36	少々お待ちください。
0:34:09	中国電力の鎌田です。お待たせいたしました。
0:34:12	本日後でその資料には入っていないんですけども
0:34:17	昨年、この内容で 5、1 回目ご説明した際に補足説明資料の 4.2 というものをお付けしております。4.2 鉄筋コンクリート製の衝突解析モデルにおける破断限界の設定についてと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:32	いう資料を提出させていただいておりましたその中で、破断ひずみの算出過程といいますか、その辺は整理して、資料化しております。以上です。
0:34:43	わかりました。NEかNEIか何かの式使って計算してんでしたっけ。
0:34:56	中国電力の仲間です。はい。ご認識の通りです。はい。以上です。わかりました。じゃあこれはあれですね、今の設定根拠ってのは、
0:35:05	この竜巻のほうの補足説明書に入ってるってことなんでしょうか。
0:35:13	はい。中国電力の仲間です。本日の 13 番の資料の、
0:35:18	目次を
0:35:21	2 ページ目におつけしておりますけれども、ちょっと赤枠で囲ってない範囲になりますが、4 ポツ 2 ということで、先ほど申し上げたような説明した資料を、前回ご提出しております。以上です。
0:35:34	わかりました。どうもありがとうございます。もうこの資料を確認してみます。
0:35:38	あとが、
0:35:41	これはもう記載だけの話です。同じ資料 11 の 46 ページ。
0:35:48	タービン外壁の解析モデルを示されてますよね。これ評価条件固定ですよ。それ一評価条件をここに記載しておいていただけますか。
0:36:00	はい。中国電力の中間で承知いたしました屋根スラブの方には、ちょっと境界条件を記載してるんですけども、こちら漏れておりましたので、次回追記したいと思います。以上ですはいすいませんお願いします私からは以上です。
0:36:14	はい、規制庁チギラですほか、お願いします。
0:36:20	はい。規制庁の谷口です。さっき、
0:36:25	羽田口座の破断ひずみの許容限界の話が出てましたけども、
0:36:31	70、88 ページ。
0:36:35	同 11 番の資料の 88 ページ。
0:36:46	これは屋根スラブの変形評価の普及、
0:36:53	評価結果が書いてあるんですけど、屋根スラブの変形評価の、
0:36:59	許容限界時、これどうやって出してますか。はい。
0:37:27	中国電力兎玉です。少々お待ちください。
0:37:34	町のところです。
0:37:56	人がね。
0:38:27	あ、すみません渡しました中国電力の小玉です。はい。
0:38:31	衛藤。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:33	すいません。すいませんこの許容限界をですねちょっと当初の方に、値のみしか
0:38:41	記載をしてない。
0:38:44	ようですので、はい。
0:38:47	ちょっと、
0:38:49	はい、現状はちょっとそういう状況です。はい。麻生。
0:38:53	要はわからないのでこれでいいかどうかの判断もできないっていうな状況だと思うので、少なくともとも同
0:39:02	どっかに書いてあるんだよ、あれば引用を先を書かないといけないし、それ以外にきっちりここに書いてしまうって言うてもあるかもしれませんし、
0:39:13	こういう変形評価なんかで、いろいろ今日原価も書いてあるんですけど、
0:39:17	許容限界値がどう、どういうふうに決めてるのかっていうのが、
0:39:22	この資料を見る限りはわからないので、ちょっとわかるように引用する図書なり、
0:39:29	また計算の根拠なりをここに記載してください。
0:39:33	いかがですか。はい。はい。中国電力小玉です。はい、了解いたしましたちょっと。
0:39:39	計算式とか引用とかですねちょっとわかるように記載を追記したいと思います。はい。以上です。
0:39:45	補足でもいいんですけど、補足にも書いてないので、もう少しわかりやすくしてください。よろしくお願いします。
0:40:07	でよろしいですね。
0:40:12	はい、了解いたしました中国人コダマです。はい。以上です。はい。よろしくお願いします。
0:40:18	以上です。
0:40:21	規制庁の大橋です。
0:40:24	13%13 番目の資料。
0:40:28	先ほど一番最初にあったコメントNo.8 に関してなんですけれど、
0:40:34	13 番目の資料の 20 ページに、
0:40:38	今回オートスペクトル出すときに、減衰を 5%等使用してるこれは、
0:40:44	既工認でもそうだったっていう話なんですけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:48	今回の検討がですね 15 ページに書いているように、建物の全体的な挙動を確認して保守的であることを確認するという目的だということなので、
0:40:59	それに限定してということでしたら、
0:41:04	これこれ以上申しませんけれども、
0:41:08	実際には建屋の減衰なんかは、
0:41:12	観測記録をもとに、SDP評価時に 3%を使ったりとか、他の
0:41:20	衝撃評価の場合はもうやっぱり 5%よりも小さななあ。
0:41:26	減衰を使ったりしてますので、
0:41:29	例えばですね建物中にある機器配管系を評価するための、
0:41:37	表解析を行うとか、そういう場合は、5%だからいいよっていうことではなくて、きちんと
0:41:45	この減衰は何%でやるのが妥当だっというような説明が必要になりますので、今回の資料はこれで結構ですけれども、
0:41:56	それだけちょっと規制庁の立場として申し上げておきます以上です。
0:42:03	中国電力のオチアイズご指摘の方承知いたしましたあくまでこの今回のこの衝撃荷重に対する建物全体としての強度を確認する観点で、5%でやったということは一応資料上は明記しておりますので、
0:42:17	そういったことをご理解いただければと思います。以上です。
0:42:23	違う。
0:43:31	ヤマモト。
0:43:33	はい。規制庁秋葉です。すいませんちょっと中で話してました。
0:43:38	それでは、
0:43:41	強度の竜巻関係で確認する点もよろしい、よろしいでしょうか。
0:43:46	はい。
0:43:48	では、中国電力側から、追加で補足説明等ありますか。
0:43:57	中国電力の仲村です。こちらからは特にございません。以上です。はい、わかりました。それでは前半パートを終了しまして後半の波及的影響の施設評価について、
0:44:11	説明の方をお願いします。
0:44:17	中国電力の笹木です。波及影響の説明なんですけれども説明時間は 30 分程度で考えております。
0:44:25	それでは説明の方を始めさせていただきます。
0:44:28	資料につきまして、つきましては①番から⑧番の資料を用いて説明を進めさせていただきます。まず初めに 1 号機原子炉建物の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:41	説明から始めさせていただきます。
0:44:43	資料ナンバー②、耐震計算書をお願いします。
0:44:50	こちらの1号原子炉建物の耐震計算書となっております。
0:44:55	資料の1ページ目をお願いします。
0:45:00	こちら1ポツ概要ということで本資料につきましては、1号機原子炉建物が、制御室建物と、廃棄物処理建物に対して波及的影響を及ぼさないことを説明する資料となっております、
0:45:12	1号機原子炉建物構造物全体としての変形性能の評価を実施するものとなっております。
0:45:19	あと6ページをお願いいたします。
0:45:25	こちらに建物の配置図を示しております。
0:45:29	1号機原子炉建物は、制御室建物や廃棄物処理建物、
0:45:34	より東側に設置されておまして
0:45:37	両建物とも10メートル以上離隔が確保された位置に配置されております。
0:45:43	続きまして10ページをお願いします。
0:45:50	3ポツ評価、評価方法としております3ポツ1の評価対象部位及び評価方針についてなんですけれども、
0:46:00	構造物全体としての変形性能の評価では、失点系モデルを用いた地震応答解析結果により求められる。
0:46:08	鉄骨部の最大層間変形角及び耐震駅の最大応答せん断ひずみが、建築基準法及び、尺460119887により設定した許容限界を超えないことを確認するものとしております。
0:46:23	ここで鉄骨部なんですけれども、1号機原子炉建物につきましては、EL44メートル以上の部分が、鉄骨造となっております、その部分に対して層間変形角で評価を実施しております。
0:46:35	17ページをお願いします。
0:46:43	藤3ポツ4許容限界ということでこちらにはそれぞれの鉄骨部、耐震費それぞれの許容限界を示してございます。
0:46:51	鉄骨部につきましては、120分の1、
0:46:54	許容限界として設定しておまして、耐震平均につきましては、 4.0×10 のマイナス3乗を供用限界として設定してございます。
0:47:03	20ページ目をお願いします。
0:47:09	こちらには1号機原子炉建物の地震応答解析モデルを記載してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:15	1号機原子炉建物につきましては、付着力9着力を考慮したジョイント要素を用いた、地盤3次元のFEMモデルを採用しております。
0:47:25	選定のプロセスにつきましては後程補足説明資料、
0:47:29	の方で説明させていただきます。
0:47:31	次のページには、EW方向のモデルを、
0:47:34	つけております。
0:47:37	40ページ目をお願いいたします。
0:47:47	藤3ポツ5ポツ4、材料物性の不確かさ等ということでページ下の表3の中に、地震動解析係数を示しております。
0:47:57	地震応答解析ケースはケース1から4、ありまして基本ケース、地盤物性の $\pm\sigma$ 、積雪荷重との組み合わせの4ケースを実施してごさいます。
0:48:07	43ページをお願いします。
0:48:13	こちらから4発評価結果となっております。
0:48:17	まずこちらのページには層間変形角の評価結果を示しております。
0:48:22	層間変形角につきましては、最大で222、221分の1となっております、東京限界である120分の1をまず超えないことを確認しました。
0:48:33	次のページをお願いします。
0:48:37	こちらにはせん断ひずみの評価結果を示しております。
0:48:40	せん断ひずみにつきましても、いずれのケースにおいても、許容限界を超えないことを確認しております。
0:48:47	②番の資料は以上となりまして、続きまして、③番の資料をお願いします。
0:48:59	こちらは1号機原子炉建物の耐震性についての計算書に関する補足説明資料となっております、2ページ目に目次をつけております。
0:49:09	2ページ目をお願いします。
0:49:14	補足説明資料の説明、説明につきましては、別紙1から5をつけているんですけども、別紙1から別紙4-2につきましては、
0:49:24	先にすでにご説明している2号機関係の建物等々、同じような内容となっておりますので、説明の方は割愛させていただきまして、別紙5の説明をさせていただきたいと思っております。
0:49:37	361ページをお願いします、通しページで361ページをお願いします。
0:49:51	別紙5、地震応答解析モデルの選定プロセス、
0:49:55	となっておりますして、363ページ目をお願いいたします。
0:50:04	1ポツ概要ということで1号機原子炉建物の地震応答解析。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:09	については、基準地震動 S_s に対して、付着力を考慮したジョイント要素を用いた3次元FEMモデルにより評価を行っておりまして、こちらを選定したプロセスについて説明する資料となっております。
0:50:22	365 ページをお願いします。
0:50:29	こちらのページにはモデルの選定フローを示してございます。
0:50:33	こちらのフロー図につきましては、他の建物でもすでにご説明されておりますが、今回の1号機原子炉建物はこのフロー図中の④番のモデルを採用してございます。
0:50:46	360、次のページをお願いします。
0:50:52	こちらのページに選定の結果、検討結果を示してございます。
0:50:59	①番、非浮き上がり船型SRモデルによる結果と、
0:51:05	②番、誘発上下動考慮SRモデルによる結果、接地率がそれぞれ満たしていないことから、③番の浮き上がりSRモデルについても検討を行いました。これが付着力を満足しないということで、
0:51:18	④番のジョイント要素、付着力考慮を用いた3次元FEMモデルを採用することといたしております。
0:51:26	で、こちらの解析結果につきましては、別紙4-2、材料物性の不確かさを考慮した地震応答解析結果のほうに示してございます。
0:51:37	③番の資料の説明は以上となります。続きまして、①番の回答整理表をお願いいたします。
0:51:48	①番の回答整理表になりますが、こちらの申し送り事項。
0:51:53	衛藤コメント等がございまして、こちらコメントといってもまとめ資料での当社の記載事項となっておりますが、コメント内容といたしましては、制御室建物及び廃棄物処理建物以外の建物において、
0:52:07	付着力を考慮する場合に採用する基礎が浮き上がる評価法について説明するとなっております。
0:52:13	回答としましては、1号機原子炉建物について、ジョイント要素、付着力考慮を用いた3次元FEMモデルによる最小接地率は98N、NS方向で98.8%。
0:52:26	%、EW方向で52.4%となっております。
0:52:31	ジョイント要素付着力考慮を用いた3次元FEMモデルが適用可能な設置率35%以上を大きく上回ることから、
0:52:40	ジョイント要素を用いた3次元FEMモデルの適用性を確認しましたとしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:47	続きまして、1号機タービンの説明の方をさせていただきたいと思います。
0:52:53	資料④番をお願いいたします。
0:52:59	資料④番の耐震計算書のすみません、1ページ目をお願いいたします。
0:53:08	本資料につきましては、1号機タービン建物が制御室建物、タービン建物及び廃棄物処理建物に対して波及的影響を及ぼさないことを説明する資料となっております。
0:53:21	5ページ目をお願いします。
0:53:26	こちらに建物の配置図を示してございます。
0:53:31	1号機タービン建物制御室建物とタービン建物が1号機タービン建物に対して建設しておりまして、1号機タービン建物から南西側に、
0:53:43	9メートル程度離れた場所に廃棄物処理建物が配置されております。
0:53:49	12ページをお願いいたします。
0:53:54	3ポツ評価方法となっておりますけれども、構造物全体としての変形性の評価につきましては、先ほど1号機原子炉建物でもご説明しましたが、
0:54:06	こちら耐震力の最大応答せん断ひずみにより、確認することとしております。
0:54:11	ただ今回成立建物とタービン建物が近接しているということで、それぞれの建物に対する相対変位による評価も実施しております。
0:54:22	19ページをお願いします。
0:54:29	許容限界を示しております。
0:54:32	耐震比木の許容限界につきましては、先ほど、
0:54:36	ご説明したものと同じで4.0×10のマイナス3乗を使っております。
0:54:41	相対変位の評価につきましては、建物ごとでクリアランスが異なっております、
0:54:46	制御室建物とのそ最大相談員に対しましては50ミリ、
0:54:52	タービン建物に対しては100mmの許容限界を設定してございます。
0:54:57	46ページをお願いいたします。
0:55:06	こちらから、評価結果のほうを説明させていただきます。
0:55:11	まず、構造物全体所としての変形性の評価結果ということで、せん断ひずみの結果を示してございます。
0:55:20	せん断ひずみにつきましては、いずれの場合においても許容限界を超えないことを確認しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:26	次のページをお願いします。
0:55:31	こちらから、相対変位による評価結果を示してございます。
0:55:35	こちらのページには、1号機タービン建物と制御室建物間のNS方向の最大相対変位の結果を示してございます。
0:55:45	いずれのケースにおきましても、許容限界を超えないことを確認しております。
0:55:54	と49ページ目をお願いします。
0:55:59	こちらも同様に、制御室建物との今度はEW方向の相対変位の結果を示してございます。
0:56:08	こちらも許容限界を超え、
0:56:10	いうことを確認しております。
0:56:14	あと51ページ目をお願いします。
0:56:19	こちらには、1号機タービン建物とタービン、2号機タービン建物間のEW方向の最大相対変位を示しております、同じく、許容限界を超えないことを確認しております。
0:56:31	資料④の説明は以上となりまして、続きまして、資料⑤の補足説明資料の方に移りたいと思います。
0:56:41	資料、⑤の2ページ目をお願いいたします。
0:56:48	こちらのページに目次を示してございますが、先ほどの説明と同様、別紙1から別紙4-2につきましては、
0:56:58	同じような内容と名を先に説明した建物と同じような内容となっておりますので、別途説明のほうは割愛させていただきます。
0:57:06	別紙5の説明なんですけれども342ページをお願いいたします。
0:57:21	別紙5、床ばねの諸元及び非線形性を考慮した解析。
0:57:25	となっております。
0:57:27	の資料となっております。
0:57:29	と344ページをお願いいたします。
0:57:35	1ポツ概要ということでこの資料なんですけれども、1号機タービン建物の地震応答解析モデルの床ばねを線形でモデル化しておりますことから、床ばねの諸元を確認しましてその適用性について確認する資料となっております。
0:57:52	345ページ目をお願いいたします。
0:57:59	こちらには1号機タービン建物の解析モデル図をつけております。
0:58:06	上にNS方向、下にEW方向のモデルをつけております。
0:58:11	347ページ目をお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:17	1 ポツに、床ばねの応答解析ということで、こちらでは地震応答基準地震動 S_s-D から $S_sN II$ の基本ケースにおける床ばねの最大応答せん断ひずみを算出しまして、
0:58:30	それらのせん断ひずみが、
0:58:33	せん断スケルトン曲線の台帳 0 点を、を超えるかどうかを確認してございます。
0:58:40	その結果を、349 ページに示してございます。
0:58:47	349 ページをお願いします。
0:58:51	あとこちらには表 1-4、と表 1-5 を示してございまして、
0:58:56	1-4 の方がNS方向の結果、1-5 がEW方向の結果となっております。
0:59:02	NS方向につきましては、半数の床ばねにおいて、第 1 折点を上回るせん断ひずみが生じております。
0:59:09	EW方向につきましては、すべてのエース床ばねにおいて、
0:59:15	第 1 折点より小さいことを確認しました。
0:59:19	350 ページ目をお願いいたします。
0:59:26	2 ポツ床ばねの非線形ばねを、
0:59:28	ばねとした場合の検討ということで 2 ポツ 2 に、検討に用いる地震は、及び地震応答解析モデル。
0:59:36	について説明してございます。
0:59:37	衛藤先ほどの表で示されたようにN-S方向の床ばねにおいては、第 1 折点を超える最大せん断ひずみが生じていることを確認しました。
0:59:48	また波及的影響評価におきましては、基準地震動 S_s-D 。
0:59:53	ケース 2 が、耐震駅の最大応答せん断ひずみ及び最大相対変位による評価で最も厳しくなることから、
1:00:01	今回非線形ばねを用いた地震応答解析での検討ケースを基準地震動 S_s-D ケース 2 のNS方向モデルに対して実施することとしております。
1:00:12	この際、すべての床ばねを非線形ばねとして設定してございます。
1:00:16	352 ページ目をお願いします。
1:00:22	2 ポツ 4、床ばねを非線形ばねとした場合の解析結果ということで、ホームページ以降に、
1:00:28	応答図と応答一覧の比較を示してございます。
1:00:32	こちらの第 2 段落目んから、結果を整理してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:38	各応答成分の比較から、全体的に今回工認モデルが、床ばね非線形モデルを概ね包絡していることを確認しております、また、床ばねの最大応答せん断ひずみ、
1:00:49	最大応答せん断ひずみが 0.79 掛ける 10 のマイナス 3 乗となっております、耐震性に問題ないことを確認いたしました。
1:00:57	また、波及的影響の観点から見た場合なんですけれども、耐震駅のせん断ひずみが 1.24×10 のマイナス 3 乗となっております、こちら 4.0 $\times 10$ のマイナス 3 乗を超えないことを確認しております。
1:01:12	また、
1:01:14	制御室建物との最大応答変位についても確認し、を実施しております、こちらも許容限界である 50 ミリを下回ることを確認いたしました。
1:01:25	疼痛図別紙 5 の説明は以上となりまして、続きまして、364 ページ目をお願いいたします。
1:01:36	こちらから別紙 6 となりまして、こちらでは建物間に配置された発泡ポリスチレンの影響について説明する資料となっております。
1:01:46	366 ページ目をお願いします。
1:01:53	2 ポツのところに、建物間、2 ポツ建物間の発泡ポリスチレン盤の設置状況としまして、1 号機タービン建物と制御室建物間に設置された、
1:02:05	発報し、
1:02:07	ポリスチレン番は、厚さや、50 ミリのものを設置しております、
1:02:11	1 号機タービン建物と、タービン建物間に設置され、配置された発泡ポリスチレン版は、厚さ 100mm のものが設置されております。
1:02:20	370 ページ目をお願いします。
1:02:25	4 ポツ発泡ポリスチレン番の影響と、題しましてこちらには検討の結果を示してございます。
1:02:34	建物間の絶対値案に基づく最大相対変位は、1 号機タービン建物と制御室建物間。
1:02:41	では
1:02:43	24.48mm、1 号機タービン建物とタービン建物間では 23.990mm で、となっております。
1:02:54	最大相対変位が最大となる位置におきましては、発泡ポリスチレン番号、最大 24、
1:03:01	ユリ程度を占めることにはなりますが、コンクリートの圧縮強度に比べまして、発泡ポリエチレン盤の圧縮強さが 70 分の 1 から 100 分の 1 程度と十分小さいことから、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:11	1号機ために建物が上位クラスである制御室建物とタービン建物の構造躯体の安全性に影響を与えることがないと、判断しました。
1:03:23	資料⑤の説明は以上となります。
1:03:27	続きまして、
1:03:29	⑦番の資料、お願いいたします。
1:03:35	こちらからは1号機廃棄物処理建物の耐震計算書の説明に移りたいと思います。
1:03:41	⑦番の1ページ目をお願いいたします。
1:03:48	こちらの資料なんですけど、1号機廃棄物処理建物が制御室建物及び廃棄物処理建物に対して波及的影響を及ぼさないことを説明する資料となっております。
1:04:00	5ページ目をお願いいたします。
1:04:06	こちらに、図2-4に、建物配置図を示してございます。
1:04:12	廃棄物1号機廃棄物処理建物の北側に制御室建物、西側に廃棄物処理建物が建設している状況となっております。
1:04:22	17ページ、評価方法は1号タービンと同じでダイシン平均の評価と相対変位の評価を実施しておりますので、説明の方は割愛させていただきます。
1:04:34	17ページ目をお願いします。
1:04:42	こちら3ポツ4の許容限界ということでこちらも1号機タービンと同様の考え方で、許容限界を設定してございまして、
1:04:52	タイヘキは同じ値を、 4.0×10 のマイナス3乗を、
1:04:57	使用してございます。
1:04:59	相対変位につきましては、制御室建物間で50mm、廃棄物処理建物間で100mmの許容限界を設定してございます。
1:05:10	20ページをお願いいたします。
1:05:15	こちら、文章中でちょっと
1:05:19	文章中の3段落目になるんですけども、基礎底面の地盤ばねについて説明してございます。
1:05:27	1号機廃棄物処理建物につきましては、制御室建物と同様に、地盤ばねには、土岐。
1:05:34	建物基礎底面と地盤の間に付着力、0.4ニュートンPaaS煙を考慮し、線形としてモデル化しております。
1:05:42	モデルの選定のプロセスにつきましては補足説明資料の方で、後程ご説明させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:51	続きまして、
1:05:55	あとすいません、39 ページ目をお願いいたします。
1:06:05	4 ポツ、評価結果となっております。まず、39 ページ目には、
1:06:11	構造物全体としての線形精度の評価結果としまして、耐震駅のせん断ひずみの評価結果を示してございます。
1:06:20	いずれのケースにおいても、ひよ許容限界を超えないことを確認しております。
1:06:27	次のページをお願いいたします。
1:06:31	こちらのページからは、相対変位による評価結果を示してございまして、このページでは、制御室建物間との相対変位の結果を示してございまして、
1:06:44	42 ページには、1 号機廃棄物処理建物と 2 号機廃棄物処理建物間の最大相対変位の結果を示してございます。
1:06:53	いずれの建物かについても、許容限界を超えないことを確認しております。
1:07:00	資料⑦の説明は以上となります。
1:07:03	⑧番の補足説明資料をお願いいたします。
1:07:11	⑧番の 2 ページ目をお願いいたします。
1:07:17	目次となりますが、こちら先ほどもまでの資料と同様、別紙 1 から別紙 4-2 までの説明は割愛させていただきまして、別紙 5 から説明をさせていただきたいと思っております。
1:07:29	127 ページ目をお願いいたします。
1:07:39	こちらで地震応答解析モデルの選定プロセスについてご説明させていただきます。
1:07:45	129 ページをお願いいたします。
1:07:51	1 ポツ概要ということで、1 号機廃棄物処理建物の地震応答解析は、
1:07:56	基準地震動 S_s に対して浮き上がり線形、SRモデル、括弧付着力考慮により評価を行っております、このモデルを選定したプロセスについて選定する資料となっております。
1:08:10	132 ページ目をお願いいたします。
1:08:17	こちらに選定の結果、検討結果を示してございます。
1:08:22	①番のモデル浮き上がり非線形SRモデルの設置率と、
1:08:29	②番の誘発上下動を考慮SRモデルの
1:08:32	による設置率が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:35	適用範囲を満たしていないことから、③番の浮き上がりせ形SRモデルを、付着力考慮を採用することとしております。
1:08:44	なお、このモデルによる検討結果につきましては、次の別紙 6、
1:08:49	地震応答解析における建物基礎底面の付着力の検討に示してございます。
1:08:56	次のページをお願いします。
1:09:01	別紙 6 地震応答解析における建物基礎底面の付着力の検討についてご説明します。
1:09:07	135 ページ目をお願いいたします。
1:09:13	こちらでは、こちらの資料は 1 号機元、1、1 号機廃棄物処理建物、
1:09:19	浮き上がり線形解析を採用するにあたって地震応答解析における基礎底面の付着力に関し説明する資料となっております、
1:09:27	基礎浮き上がりが発生しないために必要な付着力が付着力試験に基づき設定した値を超えないことを確認し、する資料となっております。
1:09:36	138 ページ目をお願いいたします。
1:09:42	3 ポツに算定結果となっております、こちらの算定の結果、
1:09:47	必要付着力の最大値は 0.343 ニュートンパースコアミリとなっております、
1:09:52	付着力試験の結果に基づき設定した値を超えないことを確認いたしました。
1:09:59	別紙別紙 6 の説明は以上となりまして、
1:10:04	最後は別紙 7 なんですけれども、こちらにつきましては、先ほどの 1 号タービンと同様の構成となっておりますので説明は割愛させていただきます。
1:10:17	⑧番の補足説明資料の説明は以上となりまして、
1:10:21	最後に、⑥番の回答整理表をお願いいたします。
1:10:28	こちらも先ほどの 1 号機原子炉建物と同様の申し送り事項の内容となっております、すいません先ほど申し上げましたコメント内容を読み上げると、制御室建物及び廃棄物処理建物以外の建物において、
1:10:42	付着力を考慮する場合に採用する基礎浮き上がり評価法について説明するとなっております、回答につきましては、
1:10:50	1 号機廃棄物処理建物について、重役 46011991 追補版に示される。
1:10:57	浮き上がり線形地震応答解析を実施し、基礎を浮き上がりが発生しないための必要付着力を算定した結果、
1:11:04	必要付着力の最大値は 0.343%ニュートン%スクエアミリ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:09	となりまして、付着力試験に基づき設定した値を超えないことから、浮き上がり線形地震応答解析の適用性を確認しております。
1:11:19	当説明は以上となります。
1:11:23	はい。規制庁チギラです。ご説明ありがとうございました。
1:11:27	それでは今説明があった波及的影響の3施設について確認する点がある方。
1:11:34	お願いいたします。
1:11:40	規制庁の三浦です。
1:11:43	動的解析そのものについては、今までご説明聞いてる通りなので、
1:11:48	特に大きなところはないんですが、
1:11:51	1号機原子炉館野を3番の資料ですか、3番の資料の、
1:12:00	68ページ。
1:12:02	3番の資料の68ページです。
1:12:07	ここ表3のなお、見ていただくと、
1:12:12	これ最大応答加速度を、
1:12:15	ですよ。
1:12:16	これを見てくると、
1:12:21	EL44、
1:12:23	44じゃないな。
1:12:25	EL50.9。
1:12:27	だからちょうどオペフロの中間部にせ、
1:12:30	ある支店の応答加速度なんです、
1:12:34	7時とか8時とか出てるんですよこれ700から800明日80007000Gal8000ガル。
1:12:42	のオーダーが出てるんですよ。
1:12:46	これ面内方向の、
1:12:49	層間変形角は満足するかもしれないけれど、
1:12:54	この加速度が入ったら、
1:12:56	面外2受ける、鉄骨造もたないんじゃないですかこれ。
1:13:01	ちょっとこの加速度に対して、上部の鉄骨部が、
1:13:08	面外方向にこの加速度を受けたときですよ。
1:13:11	本当に持っているのかその仕上げ材がどうなってるかもちょっとディテールも知りたいんですけど、この階層増に耐えられるんですかそのチェック全部されてます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:43	中国電力の落合です。鉄骨部の評価についてはあれなんですけど、外装材については保管アクセスの方の資料で、面外方向に
1:13:55	このぐらいの下の 70 とか 80 ぐらいの加速度。
1:13:59	ちょっと数字はちょっと覚えてませんけど、検討してたかと思えますちょっと資料を確認させていただきますけど、落下しないとかいう評価はしていただくかと思えます。以上です。
1:14:11	規制庁の植田です。
1:14:12	根井、その資料を見たのちょっと眺めたような気もするんですけど。
1:14:19	7 時 8 時のレベルでも大丈夫だって結論なっていましたっけ。
1:14:23	普通これ、あれ、落合さんね、ここかてモールですから、PC、PC版から以下ですから鉄工所に、
1:14:36	中国電力のオチアイズ 1 号の外壁はですね確か後半、両方に鋼板があつて真ん中に断熱材を挟んで終わり軽いような構造物になっていることがはあはあ。
1:14:48	確かそうでしたね 1 号のだから上宮脳鉄骨部ってあれですよ。
1:14:53	そのPCとかその使っていないんですね。だから、
1:14:57	断熱は山の後半か何かが、それだから 7 時ぐらいでも持ったっていうことですかね。
1:15:04	中国電力の落合です。私もそう思ってます構造については間違いなく軽量の両方に鋼板がで真ん中に断熱材を挟んだような、外装材になっておりますので、
1:15:15	それが確かちょっと 78 でかなり大きな数字でやってたのは間違いないので、それに対しての、アクセスルートへの影響がないという検討はしてたと思います。わかりました。それは私も何となく覚えてます。これね。
1:15:28	あと、過去は大丈夫ですかこのチェックはされてる。
1:15:50	中国電力の落合です。加工については特段今直接評価してなくて面談方向のひずみっていうか変形角で評価しております。ただ、
1:16:02	実際この加速度はかなり大きな数字出てますけど、実際鉄骨のブレースの非線形性に関しては、わずかに塑性域に入る程度で、
1:16:14	あそこどうしてもちょっと計算上大きな数字が出ちゃうんですけど、変形はかなり小さくて塑性率も小さいということを確認しておりますので、確かに面外方向については検討はしていないのが実態ですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:26	鉄骨のブレースの塑性化の程度としては小さいというふうに考えてます。以上です。規制庁の三浦です。確かにね、この加速度レベルから見ると変形量は小さいので、
1:16:39	面内方向の音に関してはそんなにこれ効いてきてないんだと思うんですよ。ただ、
1:16:45	やはり、
1:16:46	面外方向ね。
1:16:48	これに関してはこれ確認しとく必要あると思いますよ。
1:16:52	ですから、ちょっと構造そのものがよくわからないんで何とも言えないんですけど、
1:16:58	何らかの形は上で見るのかどうか、もうちょっとフレームモデルできちっとしたものを組むのか組まないのか。
1:17:05	この加速度を入れたときに、その鉄骨がちゃんと大丈夫であるという確認をしてもらいたいんですがいかがですか。
1:17:18	中国電力のオチアイでご指摘承知いたしました。少し検討して、またご説明させていただきたいと思います。以上です。はい、わかりました。そういう、ちょっとこれやっぱオーダーがね非常に大きいので、
1:17:31	気になりました。阿藤これタービンもね、
1:17:36	二次から三次ぐらい入ってきてるんですけど、高見はこれ上部はRCですか。
1:17:45	中国電力のオチアイサノタービンのオペフロから上はすべて鉄骨でございRCになってます。以上です。
1:17:53	これもあれですねタービンもオペフロの、何ていうかな、高さっていうか、非常に高くて15メートルぐらい。
1:18:00	空いてるような気がするんですが、これが二次三次入ってタービンの面外方向の壁とか持ってるって確認をされてます。
1:18:18	中国電力の落合です。衛藤RCの壁につきましてはちょっと面外方向については、現象2号機の減少建物の方で、代表して検討しているというふうに考えておりました
1:18:30	特にこの波及影響の方とかも、ではですね、RCの壁の面外についての検討までは、実施していないのが実情になります。規制庁の梅田です。原子炉建屋の結果っていうのはこのタービンの、
1:18:44	あの結果包絡できます。
1:18:58	中国電力の落合です。ちょっと包絡できるかをちょっと確認して、多分ね、その辺の説明って難しいと思うんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:07	何らかの形で、今のリアクターのオペフローから上の、
1:19:13	面外方向、
1:19:14	鉄骨造がどう思ってるのか持っていないかできれば仕上げ材の結果もそれに合わせて、
1:19:21	1回アクセス数の方で説明されることなくそれも合わせて、面外方向の
1:19:27	どうなってるかどうなるかってことについて説明してもらいたいのと、あとタービンも同じように、面外方向に対して、崩壊とかそういう現象を受けないってことを何らかの形で示してください。
1:19:39	それが原子炉建屋の中に包絡されてるっていう説明でも構わないし、実際に大雨か何かといてみて、じゃあやっぱり大丈夫ですっていう結果でも構わないので、
1:19:50	何らかの形で面外方向に対して大丈夫だと。
1:19:54	安全性を保たれてる、いうことを示していただきたいんですがいかがですか。
1:20:01	中国電力の落合です承知いたしました少し検討してまたご説明させていただきます。以上です。
1:20:07	はい。すみません。ちょうど
1:20:10	やっぱりちょっと思い、このリアクタータービンの面外方向っていうのが少し重い指摘になっちゃったかもしれないけどやっぱり何らかの形で、
1:20:18	エビデンスを出しておく必要があると思います。他は大体主を想定通りの
1:20:24	結果なので、特に大きな問題点はないと思いますが、今の点については、別途説明よろしくお願ひします。
1:20:37	はい。中国電力の打田ですご指摘承知いたしましたまたご説明させていただきます。以上です。
1:20:45	規制庁、規制庁の服部です。私から何点か確認させていただきます。
1:20:50	まず1号とか3号の排気塔についてはどうなってるんでしょうか。
1:21:07	見て、
1:21:09	中国電力の笹木です。すみません1号機排気塔につきましては時価来週のヒアリングで説明する予定となっております。
1:21:19	以上で、
1:21:22	あ、すみません、以上です。
1:21:24	規制庁の服部です3号についてはどうなってるんでしょうか。
1:21:29	中国電力の内田で3号機につきましては減少建物の上に乗っていて3号機が他アクセスへの影響ということで

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:38	土肥大臣評価の範囲からはまた建物も外しておりまして、倒壊範囲は2、アクセス、他の施設のルートはないように設定していたと思います。以上です。規制庁の服部です。はいわかりました。
1:21:52	あと、ちょっと記載が少しわかりにくかったのな。2点ほど確認しますけど。
1:21:59	丸さんの資料の、
1:22:01	一番最後の366ページ。
1:22:07	んなんですが、
1:22:11	ここはモデル化の選定の、
1:22:15	ことが書いてあって最後は④にいきますよってという話を書いてあるんですけど、
1:22:21	この最後のところに、
1:22:22	④による検討結果わあ、別紙4-2に示すって書いてあるんですけど、
1:22:29	これ④による検討結果ってのは基本的には、
1:22:33	この本編に全部入っていて、
1:22:37	別紙4-2に示すというのは、
1:22:41	設置率は、
1:22:43	この本編に入っていないので、
1:22:47	この別紙4-2にありますよということを言ってるんですかこれ。
1:22:57	中国電力の佐々木です。ご認識の通りで接地率の方ばらつきも含めて別紙4-2で示しているということでこのような記載とさせていただきます。以上です。
1:23:08	規制庁の服部です。
1:23:10	わかりましただから④ってのは基本ケースなので、基本的には本編の中に全部結果が入っていると。
1:23:17	ということなので、
1:23:19	ちょっとそこら辺泥酔ような設置率だけは入っていないので、ここにありますよってということをもう少し明確に書けないかなあと思ったんですが、
1:23:30	何か検討の余地ありますか。
1:23:40	中国電力の笹木です。すみませんちょっとわかりづらい記載で申し訳ございませんでした。ちょっと記載をわかりやすく、適正化したいと思います。以上です。規制庁のハトリですはいわかりました。
1:23:58	規制庁の服部ですはいもう1点ちょっと先ほど、ざっと説明があった中で、少しわかりにくかったというか私の頭がついていけなかったのな、ちょっと確認なんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:11	⑤の資料の 348 ページとかは、347 ページあたり。
1:24:19	ここざっと聞いてたらー。
1:24:22	と説明でわあ、
1:24:24	第 1 折れ点を超えないことを確認した評価です。
1:24:30	評価なんですと言っていて、
1:24:33	結果は台帳 0 点を超えるものがありますっていうふうに聞こえたんですけど、
1:24:38	ここ、この説明をもう 1 回ちょっとゆっくりお願いしてもよろしいですか。
1:24:50	中国電力の笹木です。すいません。説明わかりづらくて申し訳ございませんでした。
1:24:55	まずこの床ばねの非線形の江藤検討についてなんですけれども、まず
1:25:02	3、340、すいません⑤の資料の 347 ページ。
1:25:08	すいません説明の方でもちょっと申し上げたんですけれども、まずは基本ケースにおい、基本ケースで、
1:25:17	床までの最大応答せん断ひずみを算出しまして、それが
1:25:24	せん断スケルトン曲線の第 1 折れ点を超えるかどうかという確認を、
1:25:30	349 ページの表で示した示したものが、この表の 4、1-4 と 1-5 となっておりまして、
1:25:39	まずここで、NS方向がちょっと、
1:25:44	第 1 折れ点を超えているものがあるということで、まず、この時点でEW方向につきましては濃い第 1 折れ点を超えてないということでちょっとこっからこの時点で検討対象から外していると、いうことになっております。
1:25:56	で、350 ページ。
1:25:59	になるんですけれども、
1:26:01	2 ポツに、
1:26:03	検討に用いる地震は、及び地震応答解析モデルのところの文章で、こちら、第 2 段落目になるんですけれども、
1:26:13	この波及へと 1 号機タービン建物につきましては、波及的影響評価の建物ということもありません、
1:26:20	波及的影響評価ではせん断ひずみと、最大相対変位による評価を実施しているんですけれども、その評価で最も厳しいケース、NS方向の最も厳しいケースに対して、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:36	今回非線形地域別、NS方向のブリーファーに対して、衛藤オク系モデルをばねを用いた地震応答解析を実施しているというふうな流れとなっております。
1:26:46	すいません。説明は以上となります。
1:26:49	規制庁の服部ですわかりました。はい。すいませんちょっと私も、
1:26:54	頭が追いついていかなかったんですけど今の説明で理解できましたので、私からは以上です。
1:27:09	あ、規制庁のコバヤシ説、ちょっと
1:27:14	計算結果っていうか、モデル化の考え方についてももう一度確認だけさせていただきたいんですけど。
1:27:20	今回、浮き上がりを考える場合には、
1:27:23	ジョイント要素にモデル化して考えるということで、
1:27:26	資料の 2 の、
1:27:30	19 ページ目で、
1:27:32	城院長側ねの軸方向のばねは十分大きな剛性を有する場にするという考え方これは、
1:27:40	考え方についてわかるんですけど書いてまして、その次具体的なモデルの考え方は、資料の 3 の、
1:27:48	18 ページ目がこの
1:27:50	順序その軸鉛直ばねのモデル化の考え方ってこの 2 ヶ所で書いてるといふ。
1:27:56	まず確認なんですけども、そのような変え方でしょうか。
1:28:25	お待たせしました中国電力の柏木です。江藤今おっしゃられた通りで、
1:28:31	資料の 18 ペイジーがジョイント要素の具体的なモデルになっておりますが、以前廃棄物処理建物の方でもご指摘をいただいてまして、
1:28:41	15 ページの方で、具体的にす、説明を少し詳しく記載をし直したものがこちらのご説明になっております。
1:28:51	廃棄物処理建物の方についてはまだちょっと適正化できてないのでそちらはまた後日適正化をさせていただきたいと思っております。以上です。
1:29:00	それで制御建屋んときに確かちょっとし直し優先してもらったけど、
1:29:06	上に要するにこれ軸ばねと千田まで両方入ってると思ったけど、
1:29:11	軸ばねしか入ってないってことですか、確認なんですけども。
1:29:26	中国電力の柏木です。
1:29:27	今のお話ですが資料の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:32	3 番の 15 ページ、通し 15 ページをお願いします。
1:29:39	こちらの中歩道のところからジョイントよさに関する御説明を記載しておりますしてジョイント要素は鉛直方向の付着力、引張力が付着力 0.4。
1:29:49	超過したときに剥離し、鉛直方向及びせん断方向ともに、応力を伝達しないよう検討いたしますと、また、一旦付着力を超過した後は、引張力は正となった場合に鉛直方向及びせん断方向ともに、
1:30:05	応力伝達しない条件として、基礎底面のジョイント要素の場合、ばね定数については、鉛直方向及びせん断方向ともに、解析上不安定な挙動を起こさない程度に十分大きい値として、
1:30:16	アドミタンスで求めた地盤までの 50 倍程度の値を設定していると、記載させていただいております、
1:30:24	鉛直方向せん断方向ともに一応その、ある、十分な大きさを持った、
1:30:30	ばねというものを設定しているということになります。以上です。
1:30:35	私基本的この書き方は制御建屋と併せて考え方を直したということでご理解床しましたけど、
1:30:43	できれば制御建屋の時には、
1:30:45	線No. 2 も線形だけどばねモデル化した絵を一応入れてもらったんで、
1:30:51	制御建屋と、全体にば同じような気、分社して欲しいなと思いますけどその辺はどうでしょうか。
1:31:03	萩尾処理建屋、すいません。
1:31:32	推定するだけの中国電力の落合です。少しちょっと事実関係確認させていただく。
1:31:39	ないんですけど、まず、現状の同じこの 3 次元地盤 3 次元の付着を考慮した付着のジョイント要素を考慮した事象と解析は、
1:31:49	本日ご説明させていただいた 1 号の原子炉建物と、2 号機の方で言いますと、廃棄物処理建物に適用しておりますので、
1:31:59	廃棄物処理建物の方、以前、先にご説明させていただいて、そこで少しご指摘いただいた、このせん断ばねとか、鉛直ばねの剛性の考え方ですとか、
1:32:11	そういったところを今回、資料としては先取りさせていただいて、本日補足説明資料の方には反映させていただいてご説明させていただいたと、いうふうに理解しております。以上です。
1:32:22	それでちょっと私の勘違いで廃棄処理建屋はもう、この文章とこのモデル数えて同じようになっているってことですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:35	中国電力の柏木です。ご認識の通りですが廃棄物処理建物の方はまだ修正した資料をご説明させていただいておりませんのでこちらが初出しにはなるんですけど廃棄物処理建物の方も、
1:32:50	こちらの資料と合わせた形で、ご提出させていただく予定にしております。以上です。
1:33:04	どうですか。どうぞ、じゃあ直してない人合わせて 1000 名までモデル化の絵も入れていただけますでしょうか。
1:33:34	軸ばね点線で中国電力の打田のご指摘は理解いたしましたせん断ばねについては、あくまでモデル上ついているだけで、実際アドミッタンスの 50 倍ぐらいのかなり硬い。
1:33:48	ばねとして、
1:33:49	要は線形のばねがついていて、鉛直の方に引張力が発生した場合こちらも、鉛直ばねと同様にジョイントで切れるっていう設定をしている。
1:34:01	今解析のどちらでもちょっと設定的な話になるので、ちょっとこの応力変形関係としては、下柿沼線形ではあるんですけど、
1:34:11	いかがでしょうか。何かどっか見たんですけど。
1:34:15	いや、僕、
1:34:34	いいですか、じゃあ、これ。
1:34:38	うん。落合さんね、これさ、御説明なられてるのはもうよくわかります。1000 万倍大きいもんが入ってて、D 付着が切れた時に曾田さん、難波でも外すよっていう意味だと思うんだけど。
1:34:54	イメージ的なものって何か書けない。
1:35:02	中国電力の落合ですご指摘わかりましたイメージ的なもの。
1:35:07	ちょっと考えて何か、正確にはなかなか書きにくいと思うんだけど、やっぱりこちらの方の理解がちょっとこの部分しにくいところもあるので、
1:35:17	実際には高い剛性のものが引っ張り力が生じたら、こっち側に移行してくるみたいなね。
1:35:22	ちょっとイメージ的なものをに入れていただく方がいいかなって気がします。どうですか。
1:35:30	中国電力の落合です承知いたしました少し考えて、
1:35:33	中、イメージ的な図を追加したいと思います。以上です。
1:36:09	はい、伊勢チギラです。他、
1:36:13	確認する点がある方。
1:36:15	はい。
1:36:16	よろしいですかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:20	はい。
1:36:22	では、中国電力側から、はっきり京急の施設評価について、補足で説明する点があれば、
1:36:33	中国電力の落合です当社の方からは特にございません。以上です。はい、わかりました。
1:36:40	はい。
1:36:45	規制庁の服部です。中国電力側としては、許可からの申し送り事項は良くなったという理解をしているということでよろしいですか。
1:36:59	中国電力の落合です付着に関しては、
1:37:06	本日ご了解いただいたのかなと考えてます。以上です。
1:37:14	はい。量だと思えますこれ、こちらについては、申し送り事項なんですけど許可時のまとめ資料に、中国電力の方でこうしますということで宣言いただいて、それを
1:37:31	今回説明いただいたということでその内容については、特段異論もなくで量だというふうに理解をしております。
1:37:40	はい。
1:37:41	よろしければ、
1:37:44	はい、それでは本日午後のヒアリングの方を終了いたします。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。